

## 令和5年度人権学習講座報告

### 講座1

演 題	ヤングケアラーの現状と支援
開 催 月 日	6月22日（木）午後1時30分～午後3時30分
開 催 場 所	大内地域交流センター
講 師	岩金 俊充 氏    いわかね社会福祉事務所代表・フリーランスソーシャルワーカー
参 加 者 数	23名
講座内容	<p>「ヤングケアラーの現状と支援について」というテーマで講演いただきました。</p> <p>岩金先生のお話の中で、山口県の実態調査報告書（令和4）で、ヤングケアラー本人が自分がヤングケアラーであることを自覚しているかについて、「あてはまらない」52.7%（2076人）、「わからない」32.5%（1281人）という結果を紹介され、当事者のあまりの自覚の低さに今後の課題があると感じさせられました。</p> <p>受講者の感想としては「ヤングケアラーの家族について知ることができ、心が痛む。地域でもっと話す機会を作り、話すきっかけはできないのでしょうか。」「せっかくいい講座が開けるのに平日だけというのはもったいないと思います。ヤングケアラーの話など小中高でも行うべきだと思います。事例があると分かりやすいですね。」「堅苦しい話なんだろうな！とっていました。しかし、とても楽しい講座で時間があっという間でした。また、他の話も聞いてみたいと思いました。」等々の感想をいただきました。</p>

### 講座2

演 題	よりよい関係性を築くためのコミュニケーション
開 催 月 日	6月29日（木）午後1時30分～午後3時30分
開 催 場 所	佐山地域交流センター
講 師	小林 洋子 氏    coco-em i（ここえみ）代表
参 加 者 数	21名
講座内容	<p>「よりよい関係性を築くためのコミュニケーション」というテーマで講演いただきました。</p> <p>小林先生のお話の中で、上手な叱り方として①基準が明確②要求が具体的で明確③穏当な表現、であることが分かりました。</p> <p>受講者からの感想には、「内容が具体的ですぐに実践できそうなのが有難く思います。又、役に立つテーマを取り上げて頂き助かります。」「コミュニケーションは相手を傷つけない点が重要なことは分かっていたが『自分を傷つけない』ことも大切であることは初めて気づきました。しずかちゃんの『代替案を考える』力は、なかなか難しいと思いました。」「今回の最後の質問コーナーのように、もっと掘り下げた内容の話も講座内でいろいろ講義してほしいです。」「伝え方を少し変える、考える事によりその後のコミュニケーションがスムーズにいくので、実践出来たらいいなと思いました。」等々の感想をいただきました。</p>

### 講座3

演 題	在宅介護と在宅医療について
開 催 月 日	7月13日（木）午後1時30分～午後3時30分
開 催 場 所	大殿地域交流センター
講 師	末永 和之 氏 すえなが内科在宅診療所院長
参 加 者 数	35名
講座内容	<p>「在宅介護と在宅医療について」というテーマで講演いただきました。</p> <p>末永先生のお話の中で、「生き抜いて逝くということ」という言葉が強く印象に残りました。</p> <p>受講者の感想には、「自分の親など身内が亡くなる事が増えてきました。病院ではなく、自宅で…と本人が希望するのに、自分が仕事をしている、一緒に生活していないなどの理由で最終的には病院で亡くなりました。確かに医療機関においては、出来るすべての事をして頂いたと感謝していますが、はたして高齢だった義母にとってよかったのか、ずっと疑問でした。例え余命が短くなったとしても、生きた時間ではなく、どう最後を生きたか…それが大切なんだと思います。先生のお話はとても分かりやすく、今後、自分達の身に必ずおこる最後の生き方を考えさせられました。」等々の感想をいただきました。</p>

### 講座4

演 題	いじめ問題の対応と未然防止に向けて一人権感覚を養う教育をー
開 催 月 日	7月20日（木）午後1時30分～午後3時30分
開 催 場 所	吉敷地域交流センター
講 師	大石 由起子 氏 山口県立大学社会福祉学部准教授
参 加 者 数	26名
講座内容	<p>「いじめ問題の対応と未然防止にむけて一人権感覚を養う教育をー」というテーマで講演いただきました。</p> <p>大石先生のお話の中で、「自由とは、勝手なことをするという意味ではない。自分で選べるということ（そして、自分で選んだ行動に責任を持つということ）」という言葉に納得しました。</p> <p>受講者からの感想には、「学校現場で働く者として、生徒同士や教員・保護者との人間関係の難しさに直面している毎日です。本日は様々な対応のヒントを得る事ができ参考になりました。」</p> <p>「いじめの定義やいじりのことなど、曖昧だったところについてていねいに解説していただき、わかりやすかったです。ありがとうございました。」等々の感想をいただきました。</p>

## 講座5

演 題	発達障がい児の理解と支援～全ての子どもたちが健やかに成長するために～
開 催 月 日	7月27日（木）午後1時30分～午後3時30分
開 催 場 所	平川地域交流センター
講 師	須藤 邦彦 氏 山口大学教育学部 特別支援教育教室准教授
参 加 者 数	32名
講座内容	<p>「発達障がい児の理解と支援～全ての子どもたちが健やかに成長するために～」というテーマで講演いただきました。</p> <p>須藤先生のお話の中で、行動の意味に沿った支援で「作業道具を投げる」とことと「出来ましたと言う」ことがどちらとも「注目して」の合図だという事が分かりました。</p> <p>受講者からの感想には、「小一のASD、ADHDの息子がいます。日々接し方を試行錯誤する中、ヒントを沢山頂きました。ありがとうございました。」「発達障がいを持つお子さんが、どこに困っておられるのか、また、どう対応しているのか、少しわかったような気がします。色々と専門的な対応がまとめてあったと思うのですが、もっと具体的な例を教えていただけたらと思います。置き換える…の部分が、どうやって？とわからないまま終わりました。仕事柄、子どもさんと関わる事が多く、今回の内容をしっかりと頭に入れて、少しでも寄り添える大人になりたいと思います。」等々の感想をいただきました。</p>

## 講座6

演 題	歩と生きる
開 催 月 日	8月3日（木）午後1時30分～午後3時30分
開 催 場 所	宮野地域交流センター
講 師	中谷 加代子 氏 公益社団法人 山口被害者支援センター直接支援員
参 加 者 数	23名
講座内容	<p>「歩と生きる」というテーマで講演いただきました。</p> <p>中谷様のお話の中で、被害者の方に対しては「自然に接してほしい」ということや、二次的被害について強く印象に残りました。</p> <p>受講者からの感想は、「『もし彼が生きることを真剣に考えていたら・・・、もし彼が相手のことを大切に考えていたら・・・』私には20才を過ぎた娘と息子がいます。息子にはこの言葉をしっかり伝えたいと思いました。大切なお話をして下さって、本当にありがとうございました。大切なお話を聴くことができ良かったです。」「被害者のお話を聞いて、本当に参考になりました。自分がそうなった場合、どういう気持ちになるか、相手の立場に置き換えしっかり考えて、被害者に接していけたらと思います。本日は、貴重なお話ありがとうございました。」等々の感想をいただきました。</p>

## 講座7

演 題	日本の子育てとアメリカの子育て グローバル社会の中で力強く生き抜くために
開 催 月 日	8月10日(木) 午後1時30分～午後3時30分
開 催 場 所	鑄銭司地域交流センター
講 師	ウィルソン・エイミー 氏 山口県立大学国際文化学部教授
参 加 者 数	27名
講座内容	<p>「日本の子育てとアメリカの子育て」というテーマで講演いただきました。</p> <p>ウィルソン・エイミー先生のお話の中で、日本の子どもに少ない発達資産(外的資産)は、「エンパワーメント…人に役立つ仕事や役割を与えている」ということが分かりました。</p> <p>受講者からの感想には「本日は様々な研究データをもとにお話いただき、ありがとうございました。デジタル社会を生きていく世代にとって、家族や社会とのつながりがより重要になってくるのだなと思いました。それも、私たち大人たちが、すぐに心がけることができる挨拶からでも始めていきたいと思います。ありがとうございました。」「今まではただ日本の子どもを心配するだけでした。アメリカのことを知ること、日本の問題点だけでなく良さにも気づくことができ、これから家庭、地域、学校でそれぞれ何を取り組んでいけば良いの分かりました。まずは、幸せな自分を子どもに見せ、子どもに大切にしていることをもっと伝えていきます。ありがとうございました。」等々の感想をいただきました。</p>

## 講座8

演 題	認知症を抱えた人と共生する社会のために
開 催 月 日	8月25日(木) 午後1時30分～午後3時30分
開 催 場 所	阿知須地域交流センター
講 師	兼行 浩史 氏 山口県立こころの医療センター院長
参 加 者 数	39名
講座内容	<p>「認知症を抱えた人と共生する社会のために」というテーマで講演いただきました。</p> <p>兼行先生のお話の中で、認知症をきたす代表的な疾患では7割がアルツハイマー型認知症であることが分かりました。</p> <p>受講者からの感想には「身内に認知症(軽度)がいます。漠然としか理解できていなかった認知症について、詳しく知る事が出来ました。他人事ではなく、本人の理解者に少しでもなれる様に、今日学習した事を生かしていけたらと思います。」「認知症そのものの理解、医学的な内容も専門的なことを分かり易く説明していただき、最新の医学情報まで入っていて、とても良かったです。パワーポイントの資料が手元に配布されていてより理解しやすかったです。先生のお人柄もよくて楽しく受講できました。」「知らないことが多く、とても勉強になりました。医師への関わりについても参考になり、老いについて考えさせられました。」等々の感想をいただきました。</p>

講座9

演 題	非行・犯罪からの更生に向けて
開 催 月 日	9月7日（木）午後1時30分～午後3時30分
開 催 場 所	徳地地域交流センター
講 師	濱田 祥一 氏 山口少年鑑別所所長
参 加 者 数	20名
講座内容	<p>「非行・犯罪からの更生に向けて」というテーマで講演いただきました。</p> <p>濱田先生のお話の中で、家庭裁判所終局処理人員は減少傾向であり、その内の10人に1人が少年鑑別所に入所することを知りました。</p> <p>受講者からの感想には「退所した後のフォロー、いろいろな取組みをされており、感心しました。とてもいい事ですね。」「少年鑑別所のシステムなど、なかなか聞けない話が聞けて良かったです。再犯防止や受刑者の方々の現状もわかり、地域社会での支えがないと、犯罪により生きる場所を得る人もいるということが問題なのかなと思いました。少年犯罪に関しても、見えにくい環境になっていることは、自分の家庭に置き換えてもわかる気がします。携帯やゲームの中だけでなく、社会とのつながり、コミュニケーションをとれる子育てをしたいと感じました。」「もっと多くの人に聞いてもらえたらいいと思います。」等々の感想をいただきました。</p>